



一本道

相良中学校通信No.1

令和5年4月12日

校長 吉田憲一

1 令和5年度、10名の先生方をお迎えし、新生相良中学校スタート。

4月10日、令和5年度の相良中学校がスタートしました。就任式では、生徒会長の宮原いっしん君が、「相良中生は、元気にあふれていて、みんなで協力することができ、全員が学校行事に全力で取り組むことができます。これから先生方とたくさんの思い出ができることを楽しみにしています。」と歓迎の挨拶をしました。



10名の先生方をお迎えし、2年生が最学年の新3年生となり、1年生が中堅学年の新2年生となり、新1年生が入ってくる。このように環境が変わることに「ワクワク」しています。新生相良中学校をみんなで創っていきたいと思っています。保護者の皆様、地域の皆様、村行政の皆様、令和5年度も、ご支援ご協力、そして応援を宜しくお願いします。

2 1学期始業式での校長挨拶「時間対効果とは？」

4月10日、1学期の始業式でした。校長挨拶の中で、「限られた時間の中で、成果を出すために大切なことって何？」と質問し、全員に考えてもらいました。その後はペア発表と全体発表です。全体発表では20人ほどの手が上がりました。5名に発表してもらい、出てきた考えが、「行動力」「考動」「積極的な行動」「集中力」「前向きさ」でした。さすがです。理由を言ってくれる生徒もいました。その後、私の考え「メリハリ」

を伝えました。学校生活の多くは、限られた時間です。「時間対効果」という意識をしっかりと持ち、すべての生徒が、自分なりに有意義な中学校生活を送ってほしいと願っています。



3 入学式、VとWを意識した中学校生活を

4月11日、新入生22名を迎え、入学式を行いました。これで令和5年度のメンバーが全員揃いました。新入生の凛とした返事と真剣な眼差しに中学校生活への意気込みを感じました。式辞では、「VとW」について話しました。Vはビジョンです。つまり「目標」です。Wはワーク。つまり「積極性」です。ビジョンとワークを意識して、3年間の中学校生活を送り、心身ともに大きく成長してほしいと願っています。入学おめでとうございます。



4 「一本道」ってどんな意味？

「曲がりなりにも一本道」私が一番好きな言葉です。相田みつをさんの言葉です。曲がったとき、つまり、悩んだり迷ったりしたとき、道は大きく太く成長します。そのような人生を送りたいと思っています。生徒一人一人の「一本道」を、職員22名でしっかりと応援します。ご愛読よろしくお祈りします。



相良中 HP へ